2　地理歴史・公民

| 学校番号 | 3020 |
|---|---|

# 令和２年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 日本史Ａ | 単位数 | ３単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 改訂版　日本史Ａ（山川出版社） | | | | | | |
| 副教材等 | 図説日本史通覧（帝国書院）　日本史総合テスト改訂版（山川出版社） | | | | | | |

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・過去と現在との対話から未来が創造されることを認識する。
・様々な歴史的事象について様々な立場から考え、「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とし、現在の日本の在り方を考える。

## 2 学習の到達目標

・日本歴史の展開を世界的視野に立って総合的に考察させる。
・日本の文化と伝統の特色について認識を深めさせることにより歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会において主体的に生きる人間としての資質を養う。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 近現代史を中心とする日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求する。また国内外で主体的に活躍することで、国家・社会を形成し、歴史を築いていくという自覚を持つ。 | 現在世界が直面している諸課題を歴史的観点から考察し、日本が歴史上関係してきた事実をを踏まえながら公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 近現代史諸資料を収集し、様々な立場の人間が残す史料からは、様々な観点で歴史を紡ぐことになると認識する。また、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 | 近世・近現代史を中心とする日本の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や国際社会との関係を関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 |
| 主たる評価方法 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>夏期レポート課題 | 定期考査<br>ワークシート<br>夏期レポート課題 | 定期考査<br>ワークシート<br>夏期レポート課題 | 定期考査 |
| | 〔主題学習〕<br>夏期レポート課題での取組内容 | 〔主題学習〕<br>夏期レポート課題でのパフォーマンス | 〔主題学習〕<br>夏期レポート課題 | 〔主題学習〕<br>内容のまとまり |
| | ※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。 | | | |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

| 学期 | 月 | 時数 | 学習内容 | 主な評価の観点 a | b | c | d | 評価基準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4 | 3 | 私たちの時代と歴史<br>○日比谷公園の歴史から<br>日本の近代・現代を振り返る | ○ | ○ | ○ | | a.日比谷公園を調べることにより、歴史に関する関心と意欲を高める。<br>b:近代の市民にとって公園は,国家的行事に参加し，政治活動を共有し，教養を深め憩う場所であったことを読みとれたか。<br>c.歴史地図や写真等を活用し、地域の具体的な事例を理解する。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート |
| | 4 | 2 | **序章　近世社会の動揺と近代への胎動**<br>１．幕藩体制の動揺と政治改革<br>＊農村や都市が変化して幕藩体制が動揺する中で，幕府や諸藩が行った諸改革について，その特徴を理解する。 | | ○ | | ○ | b.幕府・諸藩の経済的窮乏，百姓一揆・打ちこわしの頻発などに着目し，天保期を中心に幕府・諸藩の諸政策を考察できたか。<br>d. 天保の改革の内容、および諸般の改革が理解できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 5 | 2 | ２．新しい経済構造と学問の芽生え<br>＊近代化の基盤の形成として，産業経済面・軍事面や文化・思想面などに着目し，地方からの視点も踏まえて理解する。 | | ○ | | ○ | b:農村家内工業からのマニュファクチュアの形成，藩政改革からの雄藩の出現，洋学・国学など新しい批判的な学問・思想の形成などの動きを，近代化の芽生えとして統一的に考察できたか。<br>d. 蘭学や洋学など世界と日本のつながりからも考察する。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 5 | 2 | ３．日本をとりまく世界の変容<br>＊欧米諸国の近代化による国際情勢の大きな変容を，列強のアジア進出・日本への接近の背景として理解する。 | | ○ | | ○ | b:列強の進出の強まりとともに，幕府の鎖国政策が次第に動揺を深めていく経過が理解できたか。<br>d. 地図等を使用し、地理的な観点からも考察できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 5 | | 【１学期中間考査・ノート提出】 | | | | | | |
| | 5 | 2 | **第１章　開国と明治維新**<br>１．アジアの激動と日本の開国<br>＊ペリー来航から開国に至る過程について，列強の進出による東アジア情勢の変化に着目して理解する。 | | | ○ | ○ | c. 史料等を使用し、日米和親条約・修好通商条約の締結，開港による経済情勢の変化に着目させる。<br>d. 地図や図版、貿易に関するグラフから幕末の政局の転換を読み取ることができたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 6 | 2 | ２．江戸幕府の滅亡<br>＊尊皇攘夷・公武合体から倒幕へと急展開する幕末の複雑な政治過程を理解する。 | | ○ | | ○ | b:幕末の政局の展開を，高まる外圧や，世直し一揆・「ええじゃないか」に象徴される民衆の動向と関わらせて考察できたか。<br>d. 年表等を使用し、列強諸国と日本の関係を考察できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 6 | 2 | ３．明治維新<br>＊大政奉還から戊辰戦争を経て廃藩置県に至る，幕末・明治初期の政治的変革と国家的統一過程を理解する。 | | ○ | ○ | | b:版籍奉還･廃藩置県によって封建的割拠制が克服され，統一的国家が形成されたことの意味に注目できたか。<br>c.幕末から明治維新にかけての史料を利用して、政局の転換を | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | 読み取ることができたか。 | |
| | 6 | 2 | 4．富国強兵<br>＊秩禄処分・徴兵令を，封建的身分制の解体，近代兵制の樹立として理解する。 | | | ○ | ○ | c. 金禄公債証書や士族の商法の図版から、明治の士族の変遷について考察できたか。<br>d. 岩倉使節団の出発から留守政府による国内改革推進，征韓論争・明治六年の政変・西南戦争までを，一連の政治過程として考察できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 6 | 2 | 5．明治初期の外交<br>＊琉球と樺太・千島列島の南北端に注目し，近代日本の国境確定過程を整理する。 | ○ | | | ○ | a. 日本の領土問題について、現在とも関連させて関心を持つことができたか。<br>d. 最初の対等条約である日清修好条規と，日本が他国におしつけた不平等条約である日朝修好条規の性格の相違に注目できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | | | 【1学期末考査・ノート提出】 | | | | | | |
| | 7 | 2 | 6．殖産興業と文明開化<br>＊統一幣制・地租改正・殖産興業政策を，明治国家の一貫した経済近代化政策として捉え，また，地租改正反対一揆などの民衆の反応にも注目する。 | ○ | ○ | | | a. 明治の貨幣と現在の貨幣を比較考察させることにより、歴史に対する関心を高めることができたか。<br>b. 思想や教育制度から生活風俗に至る「文明開化」の諸相から，明治日本を特徴付ける性急な西欧模倣に注目できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査<br>夏期レポート課題 |
| | 7 | 2 | **第2章　立憲国家の成立**<br>1．自由民権運動<br>＊民撰議院設立の建白書，立志社・国会期成同盟の運動，政党の結成を経て，激化の事件に至る民権運動の展開を理解する。 | | | ○ | ○ | c. 民選議員設立の建白書の史料から、自由民権運動への関心を持つことができたか。<br>d. 松方財政によるデフレーション，特に農村不況が，民権運動の急進化の背景をなしたことを理解できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査<br>夏期レポート課題 |
| 2 | 9 | 2 | 2．立憲制の成立<br>＊政府による憲法制定作業と憲法の定めた政治原理を理解し，憲法制定に続く諸法典・地方制度・軍制・教育制度の整備について整理する。 | | ○ | | ○ | b. 大日本帝国憲法の内容について、現在の憲法との比較を通して考察できたか。<br>d. 政府による憲法制定作業が国民に対して全く秘匿され，完成した憲法が一方的に国民に「与えられた」経緯を理解できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 9 | 2 | 3．立憲政治の展開<br>＊初期議会から桂園時代の開幕に至るまでの国内政治の動きを，政党と藩閥の抗争などの視点から理解する。 | | ○ | ○ | | b. 立憲政友会の成立から桂園時代の開幕に至る過程について，軍備の拡張の視点を踏まえて考察できたか。<br>c. 当時の投票風景の絵から初期議会の状況を考察させる。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 9 | 2 | 4．日清・日露戦争<br>＊欧米諸国との対等な関係をめざして不平等条約の改正を実現，日清・日露の両戦争を通じて東アジアに進出し，列強への仲間入りを果たした経過について理解する。 | ○ | | | ○ | a. 日清・日露戦争、条約改正について、関心を高め、意欲的に追求しようとしている。<br>d. 日露戦争における日本の「勝利」がアジア諸国の民族独立や近代化運動を刺激した反面，その後の韓国併合や満州進出の動きが，国民の対外意識や近隣諸国の受け止め方の変化につなが | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | ったことについても考察できたか。 | |
| | 9 | 2 | 5．産業革命と社会の変容<br>＊日清・日露戦争前後の時期に，資本主義経済の基礎が確立された過程を，産業革命の経過や紡績・製糸・鉄道などの主導部門の成長に着目して理解する。<br>＊農業部門の停滞，農民の貧困や，近代産業の発展にともなう社会問題，労働問題の発生について理解する。 | ○ | ○ | | ○ | a. 日本における産業革命について、軽工業から重工業への変遷について、、関心を高め、意欲的に追求しようとしている。<br>b. 民間の主導部門の発展ばかりでなく，国家による産業基盤整備・重工業の育成にも着目して，資本主義の確立過程を総合的に考察できたか。<br>d. 寄生地主制の進展，ストライキの勃発や足尾鉱毒事件などに見られる社会運動の発生，これに対する大逆事件などの国家的弾圧に着目できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 10 | 2 | 6．明治の文化<br>＊伝統的文化という基層のうえに欧米文化が模倣・導入されたことを特徴として，国民的な性格を持って成立した近代文化について，「先進世界へのキャッチアップ」という視点から理解する。 | ○ | | | ○ | a. 明治の文化について、国語とも関連させて、関心を持つことができたか。<br>d. 国家主義的な思想の形成，実証的な学問研究の発展，欧米の科学技術の導入，高い就学率を誇る教育の普及・拡充に着目して，国民が主体的に文化の創造に取り組んだ姿勢を考察できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 10 | | 【２学期中間考査・ノート提出】 | | | | | | |
| | 10 | 2 | **第３章　第一次世界大戦と日本**<br>１．政党政治の展開<br>＊２回の護憲運動を経て，政党政治が「憲政の常道」となるに至る過程を理解する。 | | ○ | | ○ | b. 護憲運度の意義を正確に理解することができたか。<br>d. 大正政変以降，政党の勢力が国民統合において中心的役割を果たすようになる事情を理解できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 10 | 2 | ２．ワシントン体制<br>＊第一次世界大戦・ロシア革命・ヴェルサイユ=ワシントン体制の成立という世界の激動に日本がどう対処したかを整理する。 | | ○ | | ○ | b. ワシントン体制を，列強の仲間入りを果たした日本をアメリカ中心の協調体制に組み込むものとして理解できたか。<br>d. 大戦後の中国・朝鮮における民族運動の高まりに注目できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 10 | 2 | ３．経済・社会の変容<br>＊第一次世界大戦によって一時的な繁栄を謳歌した日本経済が，大戦終結や関東大震災によって深刻な打撃をこうむる過程を理解する。 | | | ○ | ○ | c. グラフ等に注目して、貿易額の変化や労働争議の変化などについて考察できたか。<br>d. 大戦後の世界的なデモクラシーの風潮や日本の産業構造の変容(労働者の増大)を背景に，多方面で社会運動の高まりが見られたことを考察できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| 3 | 11 | 2 | ４．市民文化<br>＊労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の成立に着目し，都市化や国民生活の変化を踏まえて，市民文化の特色について理解する | ○ | ○ | | | a. 大正時代の市民文化について、、関心を高め、意欲的に追求しようとしている。<br>b. 学問・芸術・出版・マスメディアなどを具体的に取り上げ， | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 。 | | | | | 欧米文化の関わりとその浸透度，社会風潮との関連付けに着目して考察できたか。 | |
| | 11 | 2 | **第４章　昭和の恐慌と満州事変**<br>１．恐慌の時代<br>＊金融恐慌から金解禁を経て昭和恐慌に至る日本経済の動揺を，世界経済との関連に注意しながら理解する。 | | ○ | | ○ | b.「震災手形」「金解禁」など，恐慌の展開を把握するために不可欠な経済用語に対する理解を深められたか。<br>d.恐慌の中で農村に生じた危機に着目できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 11 | 2 | ２．政党内閣期の内政と外交<br>＊田中・浜口両内閣期に，対外的には協調外交が，内政的には政党政治がゆきづまっていく過程を理解する。 | | ○ | | ○ | b.社会主義運動の高まりと，これに対する徹底した弾圧の動きを，次第に緊迫する内外情勢と関連させて考察できたか。<br>d.中国・満州地域における日本の外交政策について、理解できているか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 11 | 2 | ３．軍部の台頭<br>＊満州事変に始まる中国侵略の本格化と五・一五事件による政党政治の終焉という内外の激動が，連動して進行する過程を理解する。 | | | ○ | ○ | c.地図や史料から満州事変や天皇機関説問題について、より深い理解ができているか。<br>d.天皇機関説問題や激しい弾圧による社会主義者の大量転向などを，国内の戦争反対勢力を一掃する動きとして理解できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 11 | | 【２学期末考査・ノート提出】 | | | | | | |
| | 12 | 2 | **第５章　第二次世界大戦と日本**<br>１．日中戦争<br>＊二・二六事件を契機に軍部の政治的発言権が増大する中，ついに中国との全面戦争に突入していく過程を理解する。 | | ○ | | | b.軍の一部によるクーデタ(二・二六事件)が鎮圧された後に，かえって軍部の政治介入が強まったのはなぜか，事件後の軍内部の勢力配置の変化に注目して考察できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 12 | 2 | ２．重化学工業化と統制経済<br>＊軍需が支えとなって日本経済が恐慌を脱出し，重化学工業化が進む一方，経済の全面に渡って国家統制が強化される過程を理解する。 | ○ | | ○ | | a.戦時下の統制や生活などについての関心を高め、意欲的に追求しようとしているか。<br>c.国民生活や文化の各方面にわたる国家統制の強まりを，具体的な事例に則して考察できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 12 | 2 | ３．第二次世界大戦と太平洋戦争<br>＊日米交渉から開戦，緒戦段階の日本の優勢から米軍の全面的反攻，終戦に至る<br>日米戦争の全過程を，戦争にともなう国民生活の全面的崩壊とともに整理する。 | | ○ | | ○ | b.なぜ日本はアメリカとの戦争に踏みきったのか，経済的背景を含め総合的に考察することができたか。<br>d.空襲・沖縄戦・原爆投下などに加え，アジア各地での戦闘･強制連行･従軍慰安婦問題・占領地域での住民動員などにも注目できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 1 | 2 | 近代の追究<br>○国際情勢と国民<br>―移民問題と近代日本の外交―<br>＊近代日本の北米(ハワイ・カナダ | | ○ | ○ | | b.近代における国民生活と国際情勢の深い関わりを，適切な主題を設定して追究し表現する活動を通して理解できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ・本土)移民の消長を，合衆国の移民政策や日米外交関係の変化から整理する。 | | | | | c. 史料や図版など様々な資料を利用して、理解することができたか。 | |
| | 1 | 2 | **第６章　占領下の日本**<br>１．占領と改革<br>＊戦後の世界秩序を踏まえ，占領政策及び戦後の民主化政策とそれにともなう諸改革について，その経過と内容を理解する。<br>＊戦後政治の動きを踏まえて，集大成となる日本国憲法制定の意義を理解する。 | | ○ | | ○ | b. 労働三法・教育基本法の制定などを取り上げ，五大改革をはじめとするＧＨＱによる諸政策が，日本の国民の戦争に対する反省に支えられて実施されたことに気付くことができたか。<br>d. 女性参政権が認められ，政党政治が復活する中，主権在民・平和主義・基本的人権の尊重の３原則を中心とする日本国憲法が制定された経緯と意味を，国民生活の状況も踏まえて考察できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 1 | 2 | ２．冷戦の開始と講和<br>＊東アジア情勢の変化を踏まえ，連合国による占領が終結し，日本が独立した意義を考える。<br>＊連合国による日本の占領が終結したことと，その後の日米関係の継続について，様々な国の立場から考察する。 | | ○ | | ○ | b. 中華人民共和国の成立，朝鮮戦争の勃発，経済面では経済安定九原則，政治面では警察予備隊の新設に着目して，占領政策の転換について考察できたか。<br>d. サンフランシスコ平和条約の調印による日本の独立国としての主権回復の意義と，安全保障をアメリカに依存する日米安保条約の締結の意味を理解できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 2 | 2 | **第７章　経済繁栄と保守長期政権**<br>１．55年体制<br>＊冷戦秩序の下での日本国内政治について，55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。<br>＊冷戦構造に雪解の状況が生まれる中，日本が国際社会に復帰したことについて，日本の国際連合への加盟，アメリカ・ソ連・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目し，独立回復後の日本の動きを考察する。 | | ○ | | ○ | b. 保守合同による自由民主党の成立から経済成長を背景とした安定した保守政権の誕生に至るまでを，外交・政治・経済を踏まえて多面的・多角的に考察できたか。<br>d. ＭＳＡ協定・新安保条約・日ソ共同宣言・日韓基本条約・ＬＴ貿易などを取り上げ，外交・政治の再編過程を把握できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 2 | 2 | ２．高度経済成長期の経済と社会<br>＊経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。<br>＊消費革命による社会の変貌と経済成長に起因する社会問題について考察する。<br>＊高度成長が終焉し，保守政権が動揺する中，国際情勢の変化を踏まえて行った国内の政治対策ついて考察する。<br>＊第２次石油危機を乗り越え，経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a. 日本の高度経済成長期の様々な面について、関心を高め、意欲的に追求しようとしている。<br>b. 産業構造の高度化などを踏まえ，開放経済体制のもとでの日本の動きを考察できたか。<br>b. 消費の拡大による豊かさの享受，核家族化，交通網の整備などによる都市化，マスメディアの発達などを取り上げる一方，農村の過疎化や公害問題などの社会問題にも注目したか。<br>c. 高度経済成長のひずみについて、写真や図版を利用して、よ | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | り具体的に理解することができたか。<br>d.努力によって築かれた豊かさ，ＯＤＡなどの社会貢献の重要性，貿易摩擦や円高への対応などがあったことに着目できたか。 | |
| | 2 | 2 | **第８章　現代の世界と日本**<br>１．冷戦の終結と日本<br>＊冷戦体制の終結と国内の状況について，日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる。 | | ○ | | | b.冷戦終結後の東欧革命，55年体制が崩壊した政治状況，バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などを取り上げ考察できたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>ワークシート<br>定期考査 |
| | 3 | 2 | ２．日本社会の変容<br>＊科学技術・産業の発達によって派生する環境問題やエネルギー問題などの日本の課題とそれに対する日本の役割を認識する。 | ○ | ○ | | | a.バブル経済から平成不況についての関心を高め、意欲的に追求しようとしているか。<br>b:原子力に対する安全性，国連平和維持活動への対応，経済不況に対する国内改革など，具体的な例をもとに理解することができたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>定期考査 |
| | 3 | 3 | 現代からの探究<br>○現代日本の農業問題を歴史的に考察してみよう<br><br>＊極端に低い食料自給率や農業人口の高齢化に見られる日本農業の危機の歴史的起源を，農地改革・高度成長・グローバリゼーションが日本農業にもたらした変化をたどることで理解する。 | | ○ | ○ | | b:戦後日本農業の変遷を国民経済・国際経済との関わりの中で大づかみに捉えることができたか。<br>c.適切な主題を設定して，資料を活用して探究し，その解決に向けた考えを表現する活動を通して，歴史的な見方や考え方を身に付けることができたか。 | 授業への積極的参加の姿勢<br>レポート |
| | | | 【３学期末考査・ノート提出】 | | | | | | |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。